



やっばい、三たびの5割動員

動労千葉530名先頭に1000名の国鉄隊列

3・24 二万四千八百の大結集

二期工事4月本格着工阻止へ

「二期工事4月本格着工阻止」をかかげた「3・24三里塚全国総決起集会」は、全国から一万四千八百名の大結集を実現し大成功をかちとった。とりわけ、わが動労千葉は「60・3」を唯一、実力で闘いぬいた地平のうえに、五三〇名という、三たびの5割動員を貫徹し、団結力をみせつけた。動労千葉・国労共闘一千名を先頭とする二千人の「労組連」隊列実現は、「三里塚を闘う労働運動の全国的拡大がさらに大きく前進していることをはっきりと示している。この成果をもって、当局、動労「本部」革マル一体となった「過員」「職場規律」攻撃を打ち破ろう。

「60・3」実力決起こそ5割動員実現の力

前日來の冷たい雨も朝にはあがり、薄陽もさしはじめた成田駅に、10時30分、快速列車が到着するや各支部組合員が続々と降りたち、たちまちホームは埋めつくされた。その数は三五〇名先着組と合流し、運転区庁舎前で独自集會が開催され、布施書記長から「今日の闘いの意義」が提起された。

直ちにバス四台に分乗し、三里塚第一公園に向かう。第一公園では労組連集會が行われ、動労千葉、国労共闘、全通、全金本山労組等の仲間から「二期阻止、中曽根打倒」の熱烈な決意が表明された。

いよいよ会場へ入場だ。白ヘルの青年部を先頭に五三〇名の長蛇の列が拍手と歓声の中を入場した。集會は、島村良助本部役員「第一次、第二次代執行や大木よねの闘いを貫けば二期阻止は可能だ。空港粉碎こそ軍事大国化粉碎の道であり断固闘う」との開會宣言をもって開始された。

主催者を代表して、小川嘉吉本部役員は「三里塚は反戦、反核、世界平和の大事な闘いだ。いかなることがあっても勝利の日まで闘いぬく」と力強いあいさつを行った。

勝利の確信に満ちあふれた基調提起

北原事務局長が基調報告にたち、「政府・公団は、六年前に強行開港を阻止され、今また二期を強行しようとしている。しかし、正義は人民の側にあり、全人民の力で必ずや廃港を実現する。また、東峰十字路裁判に対して重刑求刑の暴挙を行った。権力をもって反対同盟を叩きつぶし、数千

数万の機動隊に守られた空港など粉碎しなければならぬ。今日、動労千葉が大挙して参加している。賃上げ闘争だけでは労働者の真の解放はかちとれないと決起した労働者と連帯して闘いぬく。そして、反対同盟の基本原則をなげすめた脱落派を弾劾——掃し、人民の闘いにすべて敵対する革マルを全戦線から掃しなければならぬ」と訴え、会場を揺るがす拍手で確認された。

つづいて、「9・16東峰十字路裁判」において重刑求刑を受けた被告から、「勝利を確認し、無罪をかちとるまで闘いぬく」との決意表明をうけ、葉山、一瀬、辻各弁護士からは裁判闘争の報告と「脱落派の減刑嘆願の屈辱路線を拒否し、完全無罪獲得にむけ闘う」との決意が述べられた。

中野委員長が
国鉄—三里塚決戦勝利の決意表明
集會のふん囲気が最高潮に達する中で、各住民団体の決意表明に移った。

最初に起った、動労千葉の中野委員長は、10万人以上の労働者を切り捨てる大攻撃に屈服する国鉄労働運動の状況を突破し、唯一実力決起した「60・3」闘争について報告し「予測される厳しい状況の中でこれが階級闘争の本当の姿だ。これに勝利する以外に生きる道のないことを確認し、断固闘いぬく」と述べた。さらに、国鉄とともに決戦局面を迎えている三里塚闘争について「この闘いが国鉄労働者の闘いと結びついた時に全人民を獲得し未来を切り拓くことができる。労農連帯をさらに強め絶対に勝利させる」と決意表明した。集會は、全国各地で闘いつつ、三里塚闘争に連帯し決起した各団体代表の決意をうけ、最後に反対同盟農民の断固たる「二期阻止」の決意を全参加者の圧倒的拍手で確認し、闘争宣言、スローガンを採択してデモを行った。動労千葉全組合員は、「3・24三里塚」の大勝利を確認し、「過員」攻撃と闘いぬこう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！